

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学科名:エコ・マスター科(1年制) 動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

授業科目名	授業時間数
子どもの食と栄養	30
創作研究	60
保育の心理学	30
子ども家庭支援の心理学	30
子どもの保健	30
乳児保育 I	30
保育・教職実践演習	15
子どもの食と栄養(スクーリング)	15
幼児と造形表現(スクーリング)	15
乳児保育 II (スクーリング)	15
子どもの健康と安全(スクーリング)	15
子育て支援(スクーリング)	15
保育・教職実践演習(スクーリング)	15
保育実習事前事後指導 II (スクーリング)	15
保育実習対策	30
保育実習対策 II	30
保育教材研究	30
保育教材研究 II	30
研究保育指導法	30
研究保育指導法 II	30
現場実践指導	90
音楽 III	60
認定病児保育スペシャリスト講座	30
実習(保育実習、教育実習40時間については、近畿大学九州短期大学通信教育部にて受講。シラバスは、近畿大学九州短期大学通信教育部より配布)	
合計	690 (46)

※()内は単位数

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子どもの食と栄養 (A Child's Food and Nutrition)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	刈茅 洋子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
<p>①講義はテキスト中心に進めるので、必ず持参する ②関連する必要事項を板書する必要な言語は覚えるようになる ③学習内容に関連するプリントを配布する</p> <p>※実務経験者 ・福岡県立明善高校、福岡県立修猷館高等学校で家庭科教育を担当(文科省 平成6年 男子家庭一般必修決定 男女共学指導の教育課程実務に携わった) ・中村学園大学の家庭科教諭免許 小学校課程、幼児教育課程の1級免許取得 ・医健専門学校、介護福祉科 家政学概論担当</p>							
【到達目標】							
子どもの発育・発達に関わる基本的な知識と技能を踏まえて、小児期における心身の発達段階に応じた食育の重要性を理解できる。「授乳・離乳の支援ガイド」「食事摂取基準」「幼児のための食事バランスガイド」「厚生労働省、農林水産省、これらが理解でき、必要な時、説明できる。さらに実践化に発展できるようにする							

授業計画・内容	
1回目	「子どもの食と栄養」に対する理解を深め、実践できるように学ぶ
2回目	乳児期 乳汁栄養(母乳栄養)の意義について
3回目	乳汁栄養(人工栄養・混合栄養)について
4回目	離乳の意義とその実践について「厚生労働省2007より抜粋 離乳編・授乳・離乳の支援ガイド」
5回目	離乳の意義とその実践について「厚生労働省2008より抜粋 離乳編・授乳・離乳の支援ガイド」
6回目	乳児期の栄養上の問題と対応(例・・・ミルク嫌いなど)
7回目	幼児期 幼児期の心身の特徴と食生活の関係・幼児の発達の特徴
8回目	幼児期の食生活の特徴とその実践(幼児期の食行動)「幼児期の食行動・食事バランスガイド」
9回目	間食の意義とその実践(意義・質と量・与え方・偏食・食欲)
10回目	幼児期の栄養上の問題と健康への対応(不振・孤食)
11回目	疾病などによる身体上の問題点(下痢・便秘・肥満・痩せ・食物アレルギー)
12回目	幼児期の食育(狙い、家庭における食育)
13回目	子どもの食と栄養のこれまでにについての質問等、学んだことについて
14回目	振り返り
15回目	子どもの食と栄養 まとめと今後の対応
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期試験(筆記試験・レポート提出等) 出席・授業中の態度等により総合的に評価する 特に授業中の態度を重視する
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
使用教科書「子どもの食と栄養」 二見大介編著	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	創作研究 (Creative Research)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	眞弓 真由美
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

本授業では、「造形表現」などの学びで身につけた技術や色彩心理などの知識を基に、子どもの育ちを支える保育環境を創作し、保育所・幼稚園における保育環境をコーディネートする力を身につけることを目指します。
色に関する基礎的な知識、色や光や形が人間の心理状態に及ぼす様々な影響などを学び、壁面制作や室内装飾の実践を通して保育環境作りの能力を身につけます。描画テクニックや色彩心理、色彩理論などの学びと同時に壁面への制作を進めていきます。学生主体でテーマやデザインを決め、話し合いを重ねながら「共同制作」を行います。

※実務経験者

1984年5月～1987年9月福岡市立特別支援学校、中学校にて美術常勤講師、美術教諭。2000年9月より杜の家主幸「あそびの学校」指導者。幼児から小学生までを対象に造形表現の指導を行っている。

【到達目標】

- ①色の基礎知識について説明することができる。
- ②色や光や形が人間の心理状態に及ぼす影響について説明することができる。
- ③色や光や形が人間の心理状態に及ぼす影響(色彩心理)を制作に応用することができる。
- ④様々な行事や季節などのテーマに基づいた適切な環境作りについて説明することができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション(子どもの育ちを支える環境作りに必要なものについて説明することができる)
2回目	色彩理論(色彩についての基礎知識を学び、色と光の三原色、混色の仕組みなどを説明することができる)(目標①)
3回目	色彩心理①(色が人の心に与える影響について学び、人の心と色との関係を説明することができる)(目標②)
4回目	色彩心理②(色のイメージと使い方について学び、人の心と色との関係を説明することができる)(目標②)
5回目	壁面制作のための様々なテクニック①(メインキャラクター作りについて学び、制作を通して説明することができる)(目標③)
6回目	壁面制作のための様々なテクニック①(メインキャラクター作りについて学び、制作を通して説明することができる)(目標③)
7回目	壁面制作のための様々なテクニック②(サブキャラクター作りについて学び、制作を通して説明することができる)(目標③)
8回目	壁面制作のための様々なテクニック③(背景作りについて学び、制作を通して説明することができる)(目標③)
9回目	壁面制作のための様々なテクニック④(全体の構成や配置などについて学び、制作を通して説明することができる)(目標③)
10回目	保育環境作りのための様々なテクニック①(季節や行事などの飾り付けについて説明することができる)(目標④)
11回目	保育環境作りのための様々なテクニック②(子どもたちの作品の展示の仕方について説明することができる)(目標④)
12回目	保育環境作りのための様々なテクニック③(子どもたちの作品を使った壁面制作について説明することができる)(目標④)
13回目	作品鑑賞と振り返り①(各自担当の制作において色彩理論や色彩心理の応用を説明することができる)(目標①、②、③、④)
14回目	作品鑑賞と振り返り②(全体の壁面制作において色彩理論や色彩心理の応用を説明することができる)(目標①、②、③、④)
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	○実習などで保育園や幼稚園を訪ねる際、季節の壁面制作や子どもの作品展示などに注目するよう心がけて下さい。 ○身の回りの様々なデザインや色彩に私たちの心はどのような影響を受けているのか、日々の生活の中で着目してみてください。
評価方法	アイデアや熱意など共同制作への貢献度:60%、レポート・試験:40%
受講生への メッセージ	それぞれが個性を発揮して制作した「造形表現」での授業とは異なり、担当を決めて全員で行う「共同制作」です。欠席すると全体の完成が遅れてしまうので、体調管理には充分気をつける様にしてください。
準備するものや材料など:筆記用具以外、準備するものは特にありませんが、表現の工夫のために必要な材料を各自で持ち込むことも可能です。 教科書:なし。講師側でレジュメなどの配布物を準備します。	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育の心理学 (Infant Psychology)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	大里 公二
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日5時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>保育の現場において、日々成長する子どもたちと保育者は関わっていきます。その中で、子どもたちの「今」の発達水準から、目指すべき発達水準に達するため、保育者は発達心理学の基礎知識から子どもを理解し、保育援助を実践します。この発達の基礎知識を学ぶことで、見えない心を見ようとする力が養われるでしょう。</p> <p>発達の基本的な知識を学ぶことで、現場での出来事を多様な視点から観察・理解し、保育の中で見通しを持ったより良い発達支援が展開できるようになることを目標とします。</p> <p>※実務経験者 ・理学療法士として4年勤務。 ・幼稚園教諭として5年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>保育現場で出会う子どもたちが、日々変化していく心身の「発達」を、多様な視点から分析するための基本的知識を学び、彼らのすぐそこにある未来、あるいはずっと先にある未来を見通した保育援助を実践できるようになることを目標とする。</p> <p><短期目標></p> <p>①発達の様々な理論について、説明することができる。 ②言語、知能、感情、社会性、道徳性などの各々の発達を説明することができる。 ③生涯にわたる発達を学ぶことの重要性を説明することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	発達心理学を学ぶことの意味を説明できる。
2回目	発達とは何か説明ができる。
3回目	発達理論の歴史的変遷を説明できる。
4回目	言語の発達の道筋を説明できる。
5回目	乳幼児期の身体発達の特徴について、説明できる。
6回目	ピアジェの知的発達の特徴を説明できる。
7回目	環境が発達に与える影響を説明できる。
8回目	内発的動機づけ・外発的動機づけの違いを説明し、保育者のあり方を説明することができる。
9回目	社会性の発達プロセスを説明できる。
10回目	乳幼児期の遊びの変遷について説明できる。
11回目	ピアジェとコールバーグの道徳性の発達について説明できる。
12回目	自我の確立について説明できる。
13回目	成人の余暇活動について、述べる事ができる。
14回目	高齢者の生き方について考えを述べる事ができる。
15回目	現代社会で生きる上での家族環境の重要性を述べる事ができる。
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の次回の授業内容を、よく読んでから授業に臨むことが重要です。 常に、子どもたちと接する現場を想像しながら、疑問を持って授業に臨むことが、現場で実践できる保育者になる近道です。
評価方法	科目終末試験:100%
受講生へのメッセージ	心理学と聞くと、近寄りたがたいイメージがあるかもしれませんが、リアルにあった保育現場での出来事を多く取り入れながら、授業を進めたいと思っています。そのため、楽しんで授業に臨んでください。きっと、発達心理学が保育者にとって重要であると感じることができると思います。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>テキスト:「発達心理学—乳児期から老年期まで—」 参考文献: 関一夫・齋藤慈子著「ベーシック発達心理学」、東京大学出版会、2018 森岡周「発達を学ぶ—人間発達学レクチャー」、協同医学出版社、2015</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子ども家庭支援の心理学 (Psychology of Child home support)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	荒川 英子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	
【授業の学習内容】 子育てに関する事柄に興味を持ち、保護者の気持ちや支援の必要性を理解し、どんな支援があるのか考えていく。また、現代における社会的な状況を理解した上でどのような家庭支援を行えると良いかをグループワークにおいて、自己理解を促したり、事例をもとに保護者への対応を具体的に考えたりする。 ※実務経験者 保育士として31年勤務。							
【到達目標】 生涯発達に関する心理学の知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題について理解する。 家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を理解する。 子どもの精神保健とその課題について理解する。							

授業計画・内容	
1回目	乳児期・幼児期の発達について、説明できる。
2回目	学童期の発達について、説明できる。
3回目	青年期の発達について、説明できる。
4回目	成人期・中年期の発達について、説明できる。
5回目	高齢期の発達について、説明できる。
6回目	家族・家庭の意義と機能について、説明できる。
7回目	家族関係・親子関係の理解について、説明できる。
8回目	子育ての経験と親としての育ちについて、説明できる。
9回目	子育てを取り巻く社会的状況について、説明できる。
10回目	ライフコースと仕事・子育てについて、説明できる。
11回目	多様な家庭とその理解について、説明できる。
12回目	特別な配慮を要する家庭について、説明できる。
13回目	どもの生活・生育環境とその影響について、説明できる。
14回目	子どものこころの健康にかかわる問題について、説明できる。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	子育てに関するニュースなどに関心を持ち、保護者の気持ちや支援の必要性を理解し、どんな支援があるのか考えておく。
評価方法	授業への積極的参加10% 筆記試験:90%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
テキスト:子ども家庭支援の心理学2019年	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子どもの保健 (A Child's Health)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山下雅佳実
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1時限
【授業の学習内容】 本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、保育の対象の理解に関する科目として位置づけられています。この授業では、子どもの身体発育や生理機能及び運動機能ならびに精神機能の発達を理解し、保育における保健活動の意義とその方法について学んでいきます。 授業では、医学的な知識を身につける必要があるため、できるだけ理解しやすいように視覚教材を活用し、子どもの成長発達への理解を深められるよう教授していきます。また、子どもにとっての保健活動の意義や課題を明確にするために、グループワーク等を取り入れ授業を行います。							
※実務経験者 看護師として8年勤務。							
【到達目標】 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。 2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能ならびに精神機能の発達と保健について理解できる。 3. 子どもの健康に関する現状と課題を述べることができる。 4. 保育現場における事故防止および安全対策について具体策を説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	子どもの発育・発達と保健～生物としてのヒトの成り立ちと誕生～
3回目	子どもの健康と保健の意義
4回目	子どもの健康に関する現状と課題①～データからみる子どもの現状と課題～
5回目	子どもの健康に関する現状と課題②～子どもの事故と発生場所～
6回目	子どもの発育と保育①～成長発達の原則～
7回目	子どもの発育と保育②～新生児期～
8回目	子どもの発育と保育③～乳幼児期～
9回目	子どもの発育と保育④～学童期・青年期～
10回目	子どもの発育と保育⑤～まとめ～
11回目	環境及び衛生管理ならびに安全管理①～保育所保育指針 第5章 健康および安全～
12回目	環境及び衛生管理ならびに安全管理②～安全管理・安全教育～
13回目	生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	事前学習・事後学習を提示するので、提出期限を守ることができるよう積極的に取り組んでください。また、関連するガイドラインについて厚生労働省のHP等で内容を確認・把握しておいてください。授業時に小テストを実施するため、前回の授業の振り返りや見直しをお願いします。
評価方法	受講態度 20% 課題・レポート 20% 筆記試験 60% 受講態度には出席状況、グループワークへの取組等が含まれます。 課題・レポートは提出期限を遵守してください。
受講生への メッセージ	医学的知識を必要とする科目ですが、「子どもを知る」ためには重要な科目です。また、自分自身の子どものころや、自分の体の仕組み等を知る機会ともなる科目ですので、意欲的に授業に参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
竹内義博・大矢紀昭編「よくわかる子どもの保健 第3版」 ミネルヴァ書房	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子どもの保健 (A Child's Health)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山下雅佳実
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、保育の対象の理解に関する科目として位置づけられています。この科目では、子どもの成長発達に関する基礎的知識をふまえ、子どもによくみられる病気や症状、その具体的対応について学びます。子どもの成長発達をふまえて、子どもによくみられる病気や症状について視覚教材等を活用し教授していきます。また症状に対するケアや子どもたちへの声掛けの仕方等、グループワークや発表を通して具体的に理解できるようにしていきます。施設等における子どもたちの健康および安全についての取り組みについては、具体的な事例を挙げて教授していきます。

※実務経験者

看護師として8年勤務。

【到達目標】

1. 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。
2. 子どもの精神保健とその課題等について理解する。
3. 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション
2回目	子どもの病気と保育～子どもの健康状態の把握～
3回目	子どもがよくかかる感染症と保育①～せきやくしゃみでうつる感染症～
4回目	子どもがよくかかる感染症と保育②～人や物にふれてうつる感染症～
5回目	子どもがよくかかる感染症と保育③～食べ物や飲み物からうつる感染症～
6回目	子どもによくみられる病気と保育④～動物や昆虫からうつる感染症や生き物～
7回目	子どもによくみられる症状と保育①～発熱～
8回目	子どもによくみられる症状と保育②～せき・鼻水・鼻づまり～
9回目	子どもによくみられる症状と保育③～痛み(おなか・のど・目・口・頭など)～
10回目	子どもによくみられる症状と保育④～下痢・便秘・嘔吐～
11回目	子どもによくみられる症状と保育⑤～かゆみ・発疹～
12回目	慢性疾患や障害をもつ子どもの保育①～アレルギー性疾患・先天性疾患をもつ子どもの保育～
13回目	慢性疾患や障害をもつ子どもの保育②～健康および安全への組織的取組、医療保育について～
14回目	子どもの保健 I ②の振り返り
15回目	まとめ

準備学習
時間外学習

事前学習・事後学習を提示するので、提出期限を守ることができるよう積極的に取り組んでください。また、関連するガイドラインについて厚生労働省のHP等で内容を確認・把握しておいてください。授業時に小テストを実施するため、前回の授業の振り返りや見直しをお願いします。

評価方法

受講態度 20% 課題・レポート 20% 筆記試験 60%
 受講態度には出席状況、グループワークへの取組等が含まれます。
 課題・レポートは提出期限を遵守してください。

受講生への
メッセージ

医学的・看護的知識を必要とする科目であるため、少し難しく感じるかもしれませんが、しかし、保育現場で子どもの命をまもるためには必要な知識です。積極的に学んでください。

【使用教科書・教材・参考書】 □

竹内義博・大矢紀昭編「よくわかる子どもの保健 第3版」 ミネルヴァ書房

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	乳児保育 I (Baby Childcare I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	井上 和子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>社会環境や家族形態の変化、男女共同参画の考え方の広がりにより、乳児保育は重要性を増している。また2015(平成27)年4月から、「子ども・子育て支援新制度」が実施され、就学前の子どもを育てるための制度が大きく変わった。2017(平成29)年3月には、3法令(保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領)が同時に改訂された。そこで新しくなった制度や法令に合わせて、乳児に求められている保育を理解できるように学習を進めていく。乳児保育に関わる保育者として、乳児を取り巻く社会の仕組みを学ぶとともに、乳児期の心身の発達の特徴を正しく理解し、保育者としての心構えや対応の在り方を学ぶことを目的としている。乳児の豊かな発達を保障するために、保育者としてどうあるべきかを考える場となることを望んでいる。</p> <p>※実務経験者 幼稚園教諭として2年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>社会の現状を理解し、新しくなった制度や法令を学ぶ。その中で求められている乳児保育が自分の中でイメージできる。乳児期の子どもの様子を理解し、保育者としての関わり方や心構えについて興味や関心を持ち、実習などの際に積極的に子どもと関わることができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・乳児保育はなぜ必要かー社会的背景から考える
2回目	乳児保育の成り立ちを知ろうー歴史と現状を理解する
3回目	「子ども・子育て支援制度」ー乳児保育に関わる制度を理解する コラム 乳児院とは
4回目	知っておきたい法律のいろいろー児童福祉法など
5回目	『保育所保育指針』とは・『保育所保育指針』における乳児保育のポイント①
6回目	『保育所保育指針』における乳児保育のポイント②
7回目	人生の基礎としての乳児期・乳児のこころの発達ー身近な人との絆を育む課程
8回目	乳児のことばの発達・ 乳児のからだーからだの発育と運動機能の発達
9回目	乳児保育における複数担任制ー保育者同士の連携のあり方
10回目	保育所で過ごす一日の流れー年齢別デイリープログラム(日課表)
11回目	保護者との連携を考えようー乳児をとりまく協力関係を目ざして
12回目	発達の遅れとむき合うー保護者を支える
13回目	乳児保育における安全管理
14回目	振り返り
15回目	連絡帳の書き方ー子どもの育ちを保護者とわかち合う
準備学習 時間外学習	保育所や幼保連携型認定こども園での実習やボランティアにおいて、実際に乳児に触れ、乳児の姿を観察するとともに、乳児に接する保育者の姿を観察しよう。また日頃から『保育所保育指針』・『幼稚園教育要領』・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読んでおくこと。
評価方法	定期試験 70%・受講参加度・出席 30%
受講生への メッセージ	乳児期は心も身体も目に見えて成長・発達していきます。昨日から今日、今日から明日へと成長していく乳児の姿に出会うことが出来るのは、保育者の喜びでもあります。そのためにも学習をして乳児に対する知識を深めていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
テキスト:『乳児の生活と保育』 松本園子編著 ななみ書房 参考文献:『保育者保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育教職・実践演習 <small>(Childcare Teaching Profession Practice Exercise)</small>	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、保育士・幼稚園教諭に求められる資質と能力の習得を確認する。また、学生自身が必要に応じて、自己の資質と能力の向上に努めることができるように、発表をとおしてプレゼンテーション能力を身に付けられるようにする。</p> <p>※実務経験者 保育士として9年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>目標①自らの学びを振り返り、保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技術の習得を確認することができる。</p> <p>目標②保育士・幼稚園教諭としての現場実習を振り返り・まとめ、それをプレゼンテーション能力を身に付け、発表することができる。</p> <p>目標③保育士・幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の概要を知り、授業の目的・目標の設定について、オリエンテーションを行う。
2回目	保育者としての自己分析を行う。
3回目	保育実習Ⅰ(保育園)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる①
4回目	保育実習Ⅰ(保育園)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる②
5回目	教育実習(幼稚園)1回目を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる①
6回目	教育実習(幼稚園)1回目を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる②
7回目	保育実習Ⅰ(施設)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる①
8回目	保育実習Ⅰ(施設)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる②
準備学習 時間外学習	保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技能の中で、自己に欠けている課題を把握しておく。 保育者として必要なコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む。
評価方法	課題レポート提出(80%)、授業態度(20%)
受講生への メッセージ	保育者としての資質を向上できるように、日常的に挨拶・笑顔・感謝を心掛け、生活しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子どもの食と栄養 (A Child's Food and Nutrition)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	刈茅 洋子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
<p>【授業の学習内容】</p> <p>2日間班別実習を行い、説明を受けた献立を限られた時間内に効率よく取り組んだ動きができるようになった。材料の選択(鮮度等)。必要な分量・調理道具の活用・調理法等一連の流れでグループで楽しく試食できた。感想を述べ(後で感想文提出)以前から調理に携わっていたかのように、てきぱきとできるような実習ができた。</p> <p>※実務経験者 ・福岡県立明善高校、福岡県立修猷館高等学校で家庭科教育を担当(文科省 平成6年 男子家庭一般必修決定 男女共学指導の教育課程実務に携わった) ・中村学園大学の家庭科教諭免許 小学校課程、幼児教育課程の1級免許取得 ・医健専門学校、介護福祉科 家政学概論担当</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>献立の説明・材料配分・調理・試食、一連の流れの実習ができた。 乳児の食べ物を発達段階に応じた調理が理解できるようになり、今後は自発的に調理に携われるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	実習室使用上の注意事項、準備・服装について 班別実習 オリエンテーションを行う
2回目	重湯・お粥の実習(材料配分)生後5,6か月ごろ
3回目	離乳の開始に関わる実習
4回目	昼食(幼児期)の献立実習
5回目	間食(1品)実習
6回目	3~5歳児の献立実習
7回目	幼児の弁当献立の1品実習
8回目	間食(1品)実習
9回目	幼児食実習
10回目	グループ実習の結果(味は薄い味、はちみつ使用禁止など話し合う、アレルギー対応など)
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	「子どもの食と栄養」で、乳児期の理論面の学習を学んだので、このスクーリングと関連しながら、実際自分で行う際に、発展させることができる。
評価方法	グループ実習であり、話し合いながら、積極的に取り組み、効率よく条件に合った食を作る。実習の反省文提出する。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
二見大介【子どもの食と栄養】	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	幼児と造形表現 (Infants and Artistic Expression)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高向 一成
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時限	スクーリング
<p>【授業の学習内容】</p> <p>授業では、実技課題として美術表現法の技法体験から表現の特徴を学び、子どものとの創作活動に役立つ様々な素材や表現方法の基礎知識を習得する。応用として、共同で作品制作、制作後鑑賞を行い、表現への理解を深める。</p> <p>※実務経験者 高校教諭(美術)として24年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>さまざまな素材や表現方法を通して自己を表現する楽しさを知り、表現者として主体的に取り組むことで幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育み、必要な援助と成長を見守れる保育者の育成と実践的造形教育指導の習得を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	美術表現技法「デカルコマニー」制作
2回目	幼児画の発達過程「こどもの絵と造形、表現発達について」
3回目	幼児画の特徴「縦断的子どもの描画記録から」
4回目	幼児と造形活動
5回目	美術表現法体験①
6回目	美術表現法体験②
7回目	美術表現技法による作品制作1「スタンピング」
8回目	美術表現技法による作品制作2「デカルコマニー見立て遊びとデッサン」
9回目	美術表現技法の活用と表現
10回目	作品仕上げと鑑賞
準備学習 時間外学習	自分が使用する材料、道具の準備をきちんと行う。 制作した作品は大切に保管し、制作工程・感想を記録する。
評価方法	材料・道具・授業準備10% 課題作品90%
受講生への メッセージ	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>テキスト「図画工作」「造形表現(指導法)」</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	乳児保育Ⅱ (Baby Childcare Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	井上 和子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】

学生は、「乳児保育」以外に、子どもの心理学、子どもの保健学、子どもの栄養学、子どもの福祉等々、様々な科目の中で乳児の発達や保育について学んでいる。その中でこの講座では、他科目で学ぶことを乳児保育の実践という視点で統合できるようにしていく。特にこのスクーリングは、基本的な生活習慣について重点を置く。乳幼児にとって、基本的な生活習慣の自立は、その後の人格形成に大きな影響を与える。基本的な生活習慣についての学習を通して、乳幼児の基本的な生活習慣の自立の重要性を認識し、乳幼児の生活の内容ごとに諸学を実践的に統合することを目指していく。また「乳児保育」の学習を通して、乳幼児について、各自が抱いた興味・関心をテーマを掲げ、それについて自分なりにまとめて発表をする機会も設け、学生たちが自主的に学ぶ場も設ける。

※実務経験者
幼稚園教諭として2年勤務。

【到達目標】

- ①乳幼児の特徴を踏まえ、基本的な生活習慣とは何か、乳幼児の基本的な生活習慣の自立のための保育者の働きかけを学ぶ。
- ②それぞれの基本的な生活習慣について、具体的に自立の手順、保育者の支援の仕方を学び、実践できるようになる。
- ③乳幼児に興味・関心を持ち、乳幼児に関わる事柄、問題について積極的に関わる。

授業計画・内容

1回目	基本的な生活習慣の意義と目的。 ①基本的な生活習慣－食事－
2回目	②基本的な生活習慣－睡眠－ ③基本的な生活習慣－排泄－
3回目	④基本的な生活習慣－着脱衣－ ⑤基本的な生活習慣－清潔
4回目	保育環境の衛生管理－子どもの生活の場を清潔に保つために
5回目	乳児保育における安全管理
6回目	乳幼児に関するテーマを決めて、調べる①
7回目	乳幼児に関するテーマを決めて、調べる②
8回目	乳幼児に関するテーマを、パワーポイントにまとめる①
9回目	乳幼児に関するテーマを、パワーポイントにまとめる②
10回目	発表・評価
準備学習 時間外学習	周りの乳幼児や保育所等の施設の乳幼児を日頃から興味を持って観察したり、触れたりしましょう。 『保育所保育指針解説書』を日頃から読んでおきましょう。 『保
評価方法	発表時のそれぞれの学生の評価との総合評価 80% 二日間の授業態度 20%
受講生へのメッセージ	スクーリングならではのシラバスで、通常授業とは違い、集中して乳幼児のことを学びます。乳幼児期は、人格形成を行う出発点です。乳幼児期が、とても重要な時期であることを、この講座で学んで欲しいです。

【使用教科書・教材・参考書】 □

『はじめて学ぶ 乳児保育』 志村聡子 同文書店
『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子どもの健康と安全 (Child's health and Safety)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山下雅佳実
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、保育の内容・方法に関する科目として位置づけられています。この授業では、乳幼児期の発達過程を理解したうえで、乳幼児期の健やかな成長を支えるための保健・安全の方法を学び、保育者としての子どもの命と健康を守るという確固たる信念を形成することを狙っています。保育における養護、特に「生命の保持」の重要性が理解できるよう、関連するガイドラインや近年の動向から保健的観点を教授していきます。さらに、保育における保健的対応が可能となるよう、危機的状況にある子どもへの対応を演習等で教授します。</p> <p>※実務経験者 看護師として8年勤務。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における保健的観点を理解することができる。 2. 保育における健康および安全の管理について具体的方法を理解することができる。 3. 子どもの体調不良時等に対して適切な保健的対応ができる。 4. 家庭や職員等との連携や具体的な保健活動を理解することができる。 							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	救急処置および救急蘇生法①～小児アセスメントトライアングル(PAT)・心肺蘇生法～
3回目	救急処置および救急蘇生法②～心肺蘇生法・AEDの実際、誤嚥・誤飲時の対処法(演習)～
4回目	子どもの健康管理と身体計測(演習)
5回目	子どもの体調不良時等への対応①～アナフィラキシーショック(演習)～
6回目	子どもの体調不良時等への対応②～障害時の応急処置(演習)～
7回目	保育における保健的対応①～薬の飲ませ方(演習)～
8回目	保育における保健的対応②～保護者への連絡と連携(演習)～
9回目	保育における健康安全管理の実際～屋内と屋外の衛生管理、吐物処理(演習)～
10回目	まとめ
準備学習 時間外学習	事前学習・事後学習を提示するので、提出期限を守ることができるよう積極的に取り組んでください。また、関連するガイドラインについて厚生労働省のHP等で内容を確認・把握しておいてください。
評価方法	受講態度 20% 課題・レポート 20% 筆記試験 60% 受講態度には出席状況、グループワークへの取組等が含まれます。 課題・レポートは提出期限を遵守してください。
受講生への メッセージ	演習科目になりますので、動きやすい服装をお願いします。また、保育演習にふさわしい身だしなみをお願いします(髪をひとつに束ねる・貴金属は外す等)。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
竹内義博・大矢紀昭編「よくわかる子どもの保健 第3版」 ミネルヴァ書房	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	子育て支援 (Child care support)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山下朋子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	前期 スクーリング
<p>【授業の学習内容】</p> <p>事例をととして子育て支援・社会福祉援助活動(社会福祉援助技術)の実際と社会福祉・相談援助を学んでいく過程で理解できないことを具体的に説明し、学習していく。</p> <p>※実務経験者 ・介護福祉士として5年勤務。 ・社会福祉士として4年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>将来において保育士を目指すにあたり必要とされる子育て支援・相談援助活動(社会福祉援助技術)の基礎を習得し、援助展開における援助関係形成、援助課程や核技を効果的にかつようするための理論と方法を身に付けることを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	対人援助職について、説明できる。
2回目	セルフケアの必要性と方法について、説明できる。
3回目	相談援助の方法について①、説明できる。
4回目	相談援助の方法について②「面接技法:演習」
5回目	子育て支援と行政について、説明できる。
6回目	子育て支援と地域社会について、説明できる。
7回目	子ども・保護者と保育者について、説明できる。
8回目	福祉的課題について考える「LGBT」①、説明できる。
9回目	福祉的課題について考える「LGBT」②、説明できる。
10回目	全体のまとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	授業参加態度(30%) 授業内レポートの提出(70%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育教職・実践演習 (Childcare Teaching Profession Practice Exercise)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育 & 保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
<p>【授業の学習内容】 これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、保育士・幼稚園教諭に求められる資質と能力の習得を確認する。また、学生自身が必要に応じて、自己の資質と能力の向上に努めることができるように、発表をとおしてプレゼンテーション能力を身に付けられるようにする。</p> <p>※実務経験者 保育士として9年勤務。</p>							
<p>【到達目標】 目標①自らの学びを振り返り、保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技術の習得を確認することができる。 目標②保育士・幼稚園教諭としての現場実習を振り返り・まとめ、それをプレゼンテーション能力を身に付け、発表することができる。 目標③保育士・幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	教育実習(幼稚園)2回目を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる①
2回目	教育実習(幼稚園)2回目を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる②
3回目	保育実習Ⅱ(保育園)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる①
4回目	保育実習Ⅱ(保育園)を振り返り、実際の現場での気づき・反省・課題などをまとめる②
5回目	保育実習ⅠⅡ、教育実習(幼稚園)すべての現場実習から得た、気づき・反省・課題をグループで比較・検討する①
6回目	保育実習ⅠⅡ、教育実習(幼稚園)すべての現場実習から得た、気づき・反省・課題をグループで比較・検討する②
7回目	プレゼンテーション内容をまとめ、発表準備を行う①
8回目	プレゼンテーション内容をまとめ、発表準備を行う②
9回目	保育現場実習の報告発表①
10回目	保育現場実習の報告発表②、まとめ
準備学習 時間外学習	保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技能の中で、自己に欠けている課題を把握しておく。 保育者として必要なコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む。
評価方法	課題レポート提出(40%)、発表内容・授業態度(60%)
受講生への メッセージ	保育者としての資質を向上できるように、日常的に挨拶・笑顔・感謝を心掛け、生活しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育実習事前事後指導Ⅱ (Childcare Training Prior/ExpostInstruction Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育 & 保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
<p>【授業の学習内容】</p> <p>保育実習Ⅰ(保育所)での自己評価と課題・今後の学習目標について再度確認をする。それに基づき、具体的な保育内容をととして実習計画の作成・日誌の記録などをより実践的な内容で記入できるように学習する。</p> <p>保育実習Ⅱ</p> <p>※実務経験者 保育士として9年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>目標①「保育実習事前事後指導」「保育実習Ⅰ(保育所)」またはその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもへの支援について理解を深める。</p> <p>目標②指導計画案の作成や実習日誌の記録など保育の実践力を養うことができる。</p> <p>目標③保育士として自己の課題を明確化することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	保育実習Ⅰ(保育所)の振り返りと考察について学習する。
2回目	保育実習Ⅱ(保育所)の目的・意義について理解し、保育実習Ⅱの目標・課題を作成する。
3回目	保護者・家庭への支援と地域社会との連携について理解する。
4回目	保育実習Ⅱの指導計画案及び保育教材研究(製作・実演)を行う①
5回目	保育実習Ⅱの指導計画案及び保育教材研究(製作・実演)を行う②
準備学習 時間外学習	保育実習Ⅰ(保育所)の振り返りと次回の実習に向けた自己課題を明確にしておく。 各自設定した保育実習Ⅱにおける実習目標・課題に沿って事前準備を行っておく。
評価方法	指導案に沿った保育教材制作・実演(60%)、課題レポートの提出(30%)、授業への積極的参加(10%)、
受講生への メッセージ	実習前・実習後に関する提出物があります。一つ一つ丁寧に確認し、迅速に対応できるようにしておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
<p>幼稚園・保育所・児童福祉施設等の実習ガイド: 同文書院</p> <p>たのしい手あそびうた: ナツメ出版</p> <p>保育所保育指針解説書: 厚生労働省 フレーベル館</p> <p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育実習対策 (Childcare Training Provision)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	青木 美幸
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
【授業の学習内容】 保育所・幼稚園での保育現場で、様々な視点から保育指導が行えるように、保育指導(キッズダンス)を行うための指導案の作成法と指導法について習得する。 ※実務経験者 ・パティスポーツ保育園にてキッズダンスのレッスン担当 ・スポーツクラブネサンスにて、インストラクターとしてクラス担当							
【到達目標】 ・コミュニケーションを深める目的の短い簡単なダンスを7曲、リズム感、表現力を高める目的のダンスを2曲、合計9曲を覚えて、スムーズに指導できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、諸注意、グループ分けなど。 様々なキッズダンスを経験してもらう。
2回目	0, 1歳児における指導案を立案し、「くるくるくるっ」 を指導できるようにする。
3回目	0, 1歳児における指導案を立案し、「イエイ、イエイ、イエイ」 を指導できるようにする。
4回目	2, 3歳児における指導案を立案し、「おすし、すし、すし」 を指導できるようにする。
5回目	2, 3歳児における指導案を立案し、「バラバラくみたいそう」 を指導できるようにする。
6回目	2, 3歳児における指導案を立案し、「しゅりけん忍者」 を指導できるようにする。
7回目	3, 4歳児における指導案を立案し、「勇氣100%」 を指導できるようにする。
8回目	実習に向けて、これまでの保育指導(キッズダンス)、指導リードを復習する(1)
9回目	実習に向けて、これまでの保育指導(キッズダンス)、指導リードを復習する(2)
10回目	3, 4歳児における指導案を立案し、「バスにのって」 を指導できるようにする。
11回目	4, 5歳児における指導案を立案し、「バスにのって、サバンナへ」 を指導できるようにする。
12回目	4, 5歳児における指導案を立案し、「手の平を太陽に」 を指導できるようにする。
13回目	実習に向けて、これまでの保育指導(キッズダンス)、指導リードを復習する(3)
14回目	実習に向けて、これまでの保育指導(キッズダンス)、指導リードを復習する(4)
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	授業内評価(30%) 実技指導(70%)
受講生への メッセージ	現場ですぐ実施ができて、尚且つ子供達が、喜んでくれるダンスを踊れることはもちろん、スムーズに魅力的に伝えられるよう、トレーニングしていきましょう!! ダンスを通して、子供達から「笑顔と楽しい」を引き出せるような先生になりますように。
【使用教科書・教材・参考書】 □ ・CD「弘道・きよこのあそびうた だいすき」 他	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育実習対策Ⅱ (Childcare Training Provision Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 保育所・幼稚園での保育現場で自信をもって保育指導を行うための指導案の作成法と指導法について習得する。 模擬保育を行うことで、自分の保育と他人の保育を客観的にみて学習する。 ※実務経験者 保育士として9年勤務。							
【到達目標】 目標①各年齢にあった指導案を立案したものを模擬保育として実践することができる。 目標②実際に行った指導案実践における保育者及び観察者からの助言をもとに、フィードバックを行い自分の保育を見つめなおし課題を見出すことができる。 目標③模擬保育に対して、観察の目を養い、的確な助言を発表し、共有することができる。							

授業計画・内容	
1回目	保育実習・幼稚園実習で行った保育指導を振り返り、反省・課題・考察を深める。模擬保育の流れについて学習する。
2回目	5歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
3回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
4回目	4歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
5回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
6回目	3歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
7回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
8回目	2歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
9回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
10回目	1歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
11回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
12回目	0歳児における指導案を立案し、模擬保育を行う
13回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する
14回目	異年齢児における指導案を立案し、模擬保育を行う
15回目	模擬保育指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する。まとめ
準備学習 時間外学習	指導案立案に関するものとして、季節感のあるもの・行事に関するもの・年齢に合わせたものなど、日頃から調べておくこと。 模擬保育を行う前に立案した指導案の練習をしておくこと。 フィードバックで指摘されたアドバイスをしっかりと記録しておくこと。
評価方法	指導案に基づいた模擬保育実演(80%)積極的な授業参加(20%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 保育所保育指針解説書 厚生労働省編 フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育教材研究 (Childcare Educational Material Research)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	眞弓 真由美
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

幼児教育・保育の実践にあたり、子どもの育ちにふさわしい教材の研究が必要です。本授業では、その基礎となる知識や技術を修得するため「表現」や「言葉」の領域で身につけたことを基に教材を制作し、使ってみたり演じてみたりします。制作や実演を通して、作り方や演じ方、表現の工夫、素材の選び方や活かし方、そして年齢や状況に応じた活動内容について考察し、説明ができるようになることを目標とします。本授業終了時には、自分で制作した教材を用いて表現力豊かに演じることができるようになることを目指します。

※実務経験者

1984年5月～1987年9月福岡市立特別支援学校、中学校にて 常勤講師、美術教諭。2000年9月より社の家主宰「あそびの学校」指導者。幼児から小学生までを対象に造形表現の指導を行っている。

【到達目標】

- 目標①子どもの育ちにふさわしい保育教材について学び、保育教材の研究がなぜ必要なのかを説明することができる。
- 目標②年齢や状況によって異なる子どもの保育活動に適切な保育教材のアイデアを考え、説明することができる。
- 目標③保育教材の制作を通して、作り方や表現の工夫を説明することができる。
- 目標④保育教材の制作を通して、身近な素材の選び方や特徴の活かし方について説明することができる。
- 目標⑤制作した保育教材を用いた実践の場での活動内容を考え説明することができる。
- 目標⑥歌や言葉や音楽を用いて表現力豊かに演じることを通して、保育教材の使い方や演じ方の説明をすることができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション（子どもの育ちにふさわしい保育教材について学び、保育教材の研究がなぜ必要なのかを説明することができる。）(目標①)
2回目	自己紹介のための教材づくり①（自分の個性を表現する保育教材制作を通して、子どもの年齢や状況に適切なアイデアを説明することができる）(目標②)
3回目	自己紹介のための教材づくり②（制作した保育教材を用いて自己紹介することを通して、作り方や表現の工夫を説明することができる）(目標③)
4回目	身近な素材による保育教材づくり①(制作を通して、紙コップや紙皿、靴下などの身近な素材の選び方や素材の特徴を保育教材として活かすための工夫について説明することができる) (目標④)
5回目	身近な素材による保育教材づくり②(制作を通して、身近な素材から保育教材を作る方法や表現の工夫について説明することができる) (目標③)
6回目	身近な素材による保育教材づくり③(制作した教材を用いた活動内容を考え説明することができる。また表現力豊かに演じることを通して、使い方や演じ方の説明をすることができる) (目標⑤、⑥)
7回目	パネルシアターを作って演じる①（パネルシアターについて、その作り方や演じ方について学び、主なポイントを説明することができる）(目標①)
8回目	パネルシアターを作って演じる②(パネルシアターにふさわしい物語や絵本の題材を選び、制作のアイデアを説明することができる) (目標②)
9回目	パネルシアターを作って演じる③(パネルシアターに必要な道具について学び、ハンドパネル作りを通してその工程のポイントを説明することができる) (目標③)
10回目	パネルシアターを作って演じる④(パネルシアターの絵人形制作を通して作り方を学び、説明することができる) (目標③)
11回目	パネルシアターを作って演じる⑤(パネルシアターの絵人形制作を通して仕掛けなどの表現の工夫を学び、説明することができる) (目標③)
12回目	パネルシアターを作って演じる⑥(パネルシアターの絵人形制作を通して仕掛けなどの表現の工夫を学び、説明することができる) (目標③)
13回目	パネルシアターを作って演じる⑦(パネルシアターを用いた活動計画を立て、表現力豊かに演じるための工夫について説明することができる) (目標⑤)
14回目	パネルシアターを作って演じる⑧(パネルシアターを用いた活動計画を立て、具体的な内容について説明することができる) (目標⑤)
15回目	パネルシアターを作って演じる⑨(制作したパネルシアターを表現力豊かに演じることができる) (目標⑥)

準備学習
時間外学習
目標①②保育教材にはどのようなものがあるのか、書籍や保育雑誌等で調べておいてください。
目標①②本授業で制作するパネルシアターや手袋シアター、靴下シアターについて、どのようなものなのかをDVDや動画などで予習しておいてください。
目標③④制作に必要材料の内、個人で準備しないといけないものについては、必ず授業前に揃えておいてください。
目標⑤⑥保育教材の演じ方や使い方について、DVDや動画を参考に練習して下さい。

評価方法
○作品制作に対する熱意と作品評価(50%)
○歌や演技などのパフォーマンス(30%)
○活動計画書や授業後レポート(20%)

受講生へのメッセージ
作るだけで終わらせるのではなく、自分で作った保育教材を用いて表現力豊かに演じることができるようになって欲しいと願っています。また、制作した保育教材は、実習や保育の現場ですぐに使える財産となるものなので、実践をイメージしながら愛情を込めて制作に臨んで欲しいと願っています。

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考図書：阿部恵 著「アレンジたっぷりパネルシアター」

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	保育教材研究Ⅱ (Childcare Educational Material ResearchⅡ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	眞弓 真由美
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日4時限

【授業の学習内容】
 子どもの保育活動では、季節や行事、歌や物語を楽しんだり、生活習慣に親しんだり、様々な場面で保育教材が使われています。本授業は「保育教材研究」で身につけた基礎的な知識と技術をもとに、実習先の子どもの年齢や状況を考慮した、各自のテーマに沿った保育教材を制作する力を身につけます。また、制作した教材を用いた活動内容を考えて演じることを通して、保育者に必要な創作力や表現力、実践力を身につけることを目指します。本授業終了時には、活動内容の指導案を作成することができるようになり、音楽や言葉で表現力豊かに実演することができるようになることを目標とします。

※実務経験者
 1984年5月～1987年9月福岡市立特別支援学校、中学校にて 常勤講師、美術教諭。2000年9月より杜の家主宰「あそびの学校」指導者。幼児から小学生までを対象に造形表現の指導を行っている。

【到達目標】
 目標①子どもの保育活動において、様々な場面で使われる保育教材について、学んだことや考えたことを説明することができる。
 目標②実習先の子どもの年齢や状況を考慮した各自のテーマを設定し、保育教材のアイデアを考え説明することができる。
 目標③各自のテーマに沿った保育教材の制作を通して、素材の特徴を活かした表現の工夫や制作過程を説明することができる。
 目標④実践の場を想定した指導案を書くことを通して、保育教材を用いた活動内容を考え説明することができる。
 目標⑤歌や言葉や音楽を用いて表現力豊かに演じることを通して、保育教材の使い方や演じ方を説明することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(子どもの保育活動において様々な場面で使われる保育教材のうち、手袋シアターについて学び、制作の際に必要な道具や素材、作り方・演じ方のポイントなどについて説明することができる)(目標①)
2回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材①(実習先の子どもの年齢や状況を考慮した各自のテーマを設定し、保育教材のアイデアを考え説明することができる)(目標②)
3回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材②(各自のテーマに沿った制作を通して、素材の特徴を活かした表現の工夫を説明することができる)(目標③)
4回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材③(各自のテーマに沿った制作を通して、素材の特徴を活かした表現の工夫や、作り方を説明することができる)(目標③)
5回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材④(各自のテーマに沿った制作を通して、素材の特徴を活かした様々な表現の工夫や、制作過程を説明することができる)(目標③)
6回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材⑤(制作した教材を用いた活動計画を立て、表現力豊かに演じるための工夫について説明することができる)(目標④)
7回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材⑥(制作した教材を用いた指導案を書くことを通して、具体的な保育内容の説明をすることができる)(目標④)
8回目	季節や行事、歌や物語を楽しむための保育教材⑦(歌や言葉、音楽を用いた実演を通して、保育教材の使い方や演じ方を説明することができる)(目標⑤)
9回目	生活習慣に親しむための保育教材①(子どもの保育活動において様々な場面で使われる保育教材のうち、ハンドパネルシアターを使った生活習慣の伝え方について学び、制作の際に必要な道具や素材、作り方・演じ方のポイントなどについて説明することができる)(目標①)
10回目	生活習慣に親しむための保育教材②(実習先の子どもの年齢や状況を考慮した各自のテーマを設定し、保育教材のアイデアを考え説明することができる)(目標②)
11回目	生活習慣に親しむための保育教材③(各自のテーマに沿った制作を通して、素材の特徴を活かした表現の工夫や、作り方を説明することができる)(目標③)
12回目	生活習慣に親しむための保育教材④(各自のテーマに沿った制作を通して、素材の特徴を活かした様々な表現の工夫や、制作過程を説明することができる)(目標③)
13回目	生活習慣に親しむための保育教材⑤(制作した教材を用いた活動計画を立て、表現力豊かに演じるための様々な工夫について説明することができる)(目標④)
14回目	生活習慣に親しむための保育教材⑥(制作した教材を用いた指導案を書くことを通して、具体的な保育内容の説明をすることができる)(目標④)
15回目	生活習慣に親しむための保育教材⑦(歌や言葉、音楽を用いた実演を通して、保育教材の使い方や演じ方を説明することができる)(目標⑤)
準備学習 時間外学習	目標①②本授業で制作するパネルシアターや手袋シアターについて、DVDや動画などで予習しておいてください。 目標③制作に必要な材料の内、各自で準備しないといけないものについては、必ず授業前に揃えておいてください。 目標④⑤保育教材の演じ方や使い方について、DVDや動画を参考に練習して下さい。
評価方法	○作品制作に対する熱意と作品評価(50%) ○歌や演技などのパフォーマンス(30%) ○活動計画書や授業後レポート(20%)
受講生への メッセージ	作るだけで終わらせるのではなく、自分で作った保育教材を用いて表現力豊かに演じることができるようになって欲しいと願っています。また、制作した保育教材は、実習や保育の現場ですぐに使える財産となるものなので、自分の作品に愛着を持って実演の練習をして欲しいと願っています。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
参考図書: amico著「保育で使える! ワクワク手袋シアター」 ナツメ社 他	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	研究保育指導法 (Nursery Teaching Research Methods)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 和子
	専攻名	動物園・動物飼育 & 保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】 保育者は毎日乳幼児に接し、適切な保育をしなければならない。そこでこの講義では、どのような保育をするかというのを考え、計画していく。幼稚園実習と保育所実習が行われるので、指導案とは何かを学習した上で、自分たちなりに指導案を立案し、実習で指導案を実践していく。その経験を活かしながら、実際に適切な指導案を作成することができるように、実習で経験した現場の保育者の保育における指導を皆で共有し、より良い保育の指導を考えていく。また実際に指導案作成の為に指導やアドバイスができるように、色々な設定での指導案を立案したり、他の人の指導案を共有したりし、お互いが学ぶことができるように学習を進めていく。							
※実務経験者							
【到達目標】 指導案とは何かを学習した上で、実習先で自分が子どもたちに適切と考えた指導案を立案し、実習で実践する。実際に行った保育(実習)の反省とその時の現場の保育者の指導や助言をフィードバックして、実際に適切な指導案を作成することができるように、実習先で出会った現場の保育者の学ぶべき指導を皆で共有する。また指導案作成の為に指導やアドバイスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・授業計画・指導案作成の意義
2回目	指導案の型・指導案作成のポイント①
3回目	指導案作成のポイント②・幼稚園実習指導案作成①
4回目	指導案作成のポイント③・幼稚園実習指導案作成②
5回目	指導案作成のポイント④・幼稚園実習指導案作成③
6回目	幼稚園実習指導案作成④
7回目	幼稚園実習指導案作成⑤
8回目	幼稚園実習指導案作成⑥
9回目	幼稚園実習指導案作成⑦
10回目	幼稚園実習指導案作成⑧・幼稚園実習指導案提出
11回目	各自の幼稚園実習指導案に対するディスカッション①
12回目	各自の幼稚園実習指導案に対するディスカッション②
13回目	指導案を作成した経験を通して、指導案作成のポイント・注意点をまとめる。
14回目	振り返り
15回目	実習における反省会
準備学習 時間外学習	実習時に適切な教育実習が選択できるように、季節感のあるもの・行事に関するもの・年齢に合わせたものなど、日頃から色々調べておくこと。立案した指導案の練習をしておくこと。授業の中で作成した指導案通りに実習を行い、実際に経験した子どもたちの反応や頂いた先生方のアドバイスをしっかりと記録しておくこと。
評価方法	試験 70% 受講参加度・出席 30%
受講生への メッセージ	適切な指導を行うためには、まずは保育の計画を立て、子どもたちにどのように保育をするのかイメージできることで大切です。年齢に合わせたもの、行事に関するもの、季節感のあるもの、動的なもの、静的なものなど、色々な設定で指導案を立ててみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □ ・『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館 ・『保育所保育指針解説書』厚生労働省編 フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 フレーベル館	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	研究保育指導法Ⅱ (Nursery Teaching Research Methods II)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

保育所・幼稚園実習で行った部分実習指導実践を振り返り・反省し、保育実習指導案立案に対して、更に具体的かつ実践指導に生きる指導案作成ができるようになる。

※実務経験者
保育士として9年勤務。

【到達目標】

目標①指導案とは何かを学習した上で、各年齢にあった指導案を立案することができる。
目標②各年齢にあった指導案を立案したものを模擬保育前のシミュレーション授業を実践することができる。
目標③シミュレーション授業を行う中で、改善すべきものを見出し、より良い模擬保育を行うための準備ができる。

授業計画・内容	
1回目	前期におこなった「研究保育指導法」を振り返り、反省・課題・考察を深める。
2回目	5歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
3回目	5歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
4回目	4歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
5回目	4歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
6回目	3歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
7回目	3歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
8回目	2歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
9回目	2歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
10回目	1歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
11回目	1歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
12回目	0歳児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
13回目	0歳児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
14回目	異年齢児における指導案立案について、具体的事例及び考察、検討を行う
15回目	異年齢児における指導案立案を完成し、模擬保育前のシミュレーション授業を行う
準備学習 時間外学習	指導案立案に関するものとして、季節感のあるもの・行事に関するもの・年齢に合わせたものなど、日頃から調べておくこと。 模擬保育を行う前に立案した指導案の練習をしておくこと。
評価方法	指導案・レポート課題提出(80%)、積極的な授業参加(20%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 保育所保育指針解説書 厚生労働省編 フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	現場実践指導 (Field Practice Guidance)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	丸山怜奈、森久美子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
運動・健康・医療・保育に関するそれぞれの現場において、実践的な指導法について習得し、実践力を高めることができる。							
※実務経験者 丸山 怜奈:スタジオリストラクター他として5年勤務。 森 久美子:保育士として9年勤務。							
【到達目標】							
目標①自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関する現場における指導法を観察し、体得することができる。 目標②自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関するそれぞれの現場において、指導案を作成し、実践指導することができる。 目標③自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関する現場において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を見出すことができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の概要を知り、現場に向かうためのオリエンテーションを行う。
2回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する①
3回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する②
4回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する③
5回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う①
6回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する①
7回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う②
8回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する②
9回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う③
10回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する③
11回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う④
12回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する④
13回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う⑤
14回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する⑤
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	現場に出る前の社会性を身に付けておくこと。
評価方法	指導案・レポート課題提出(80%)、積極的な授業参加(20%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	現場実践指導 Field Practice Guidance	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川越稔之、森久美子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 運動・健康・医療・保育に関するそれぞれの現場において、実践的な指導法について習得し、実践力を高めることができる。 ※実務経験者 川越 稔之:保育士として12年勤務。 森 久美子:保育士として9年勤務。							
【到達目標】 目標①自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関する現場における指導法を観察し、体得することができる。 目標②自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関するそれぞれの現場において、指導案を作成し、実践指導することができる。 目標③自分が選択した、運動・健康・医療・保育に関する現場において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を見出すことができる。							

授業計画・内容	
1回目	前期におこなった「現場実践指導」を振り返り、反省・課題・考察を深め、次の現場での心構えを確認する。
2回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する①
3回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する②
4回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)における指導法を観察し、体得する③
5回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う①
6回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する①
7回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う②
8回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する②
9回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う③
10回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する③
11回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う④
12回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する④
13回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、指導案を作成し、実践指導を行う⑤
14回目	自分が選択した現場(運動・健康・医療・保育)において、実践指導後のフィードバックを行い、次回の課題を検討する⑤
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	現場に出る前の社会性を身に付けておくこと。
評価方法	指導案・レポート課題提出(80%)、積極的な授業参加(20%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	音楽Ⅲ (Music Ⅲ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村中 千秋
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
【授業の学習内容】 これまで取り組んできた子どもの歌の楽譜をもとに、さらなる伴奏及び弾き歌い技術の向上を目指す							
【到達目標】 保育者、教育者として必要なピアノ技術、伴奏技術、弾き歌い技術を習得する							

授業計画・内容	
1回目	授業計画発表 生活のうた(おはよう、おべんとう、おかえりのうた)復習
2回目	季節のうた(春の歌) 生活のうた(おはよう、おべんとう、おかえりのうた)復習
3回目	季節のうた(春の歌) 童謡
4回目	季節のうた(春の歌) 童謡
5回目	(夏の歌) 童謡
6回目	(夏の歌) 童謡
7回目	(夏の歌) 童謡
8回目	(秋の歌) 童謡
9回目	(秋の歌) 童謡
10回目	(秋の歌) 童謡
11回目	(冬の歌) 試験曲決め
12回目	(冬の歌) 試験曲練習
13回目	(冬の歌) 試験曲練習
14回目	試験曲練習
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	予習、復習を各自行う
評価方法	実技試験 80% 授業態度 20%
受講生への メッセージ	実技は練習あるのみ。時間を見つけて努力すること。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	音楽Ⅲ (Music Ⅲ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村中 悦子 村中 千秋
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 これまで取り組んできた、子どもの歌、季節の歌、行事の歌の譜面をもとにアレンジできるように伴奏、弾き歌いの技術を高めていく。個人レッスン系田で授業を進めていく							
【到達目標】 保育者として必要なピアノ技術、伴奏技術、弾き歌い技術を習得する 簡単な初見演奏(メロディと伴奏)ができるようになる							

授業計画・内容							
1回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
2回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
3回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
4回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
5回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
6回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
7回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
8回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
9回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
10回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ			合唱	合奏
11回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ		初見演奏	試験曲決め	練習
12回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ		初見演奏	試験曲決め	練習
13回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ		初見演奏	試験曲決め	練習
14回目	子どもの歌	季節の歌	行事の歌の伴奏アレンジ		初見演奏	試験曲決め	練習
15回目	振り返り						
準備学習 時間外学習	予習、復習						
評価方法	実技試験(80%)、授業態度(20%)						
受講生への メッセージ	就職試験に向けて、レパートリーを増やしましょう						
【使用教科書・教材・参考書】 □							

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	認定病児保育スペシャリスト講座 (Certified Sick Child Care Specialist Course)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	動物園・動物飼育 & 保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 病児保育について必要な知識を習得し、「認定病児保育スペシャリスト」の資格を取得するための学習を行う。 病児保育を学ぶことで、通常の保育プラス医療についての知識が増え、現場保育に生かすことのできる学習を行う。 ※実務経験者 保育士として9年勤務。							
【到達目標】 目標①病児保育について必要な知識について学習する。 目標②「認定病児保育スペシャリスト」の資格取得を目指す。							

授業計画・内容	
1回目	「認定病児保育スペシャリスト」資格合格までの流れと学習について知る。
2回目	「病児保育とは」「病児保育の実態」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
3回目	「病児保育に重要な2つの軸」「病児保育の遊びについて理解する」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
4回目	「病児保育における一日の流れ」「病児保育の心理について理解する」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
5回目	「病児保育におけるコミュニケーション」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
6回目	「感染予防について理解する」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
7回目	「代表的な子どもの病気を知ろう」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
8回目	「基礎的な看病について理解する」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
9回目	「病児保育におけるリスクマネジメントの基礎を理解する」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
10回目	「心肺蘇生法・気道異物の除去」についての知識を得て、小テストを行い、資格合格に向けて学習する。
11回目	全学習を振り返り、模擬問題を解いて、学習をさらに深める①
12回目	全学習を振り返り、模擬問題を解いて、学習をさらに深める②
13回目	全学習を振り返り、模擬問題を解いて、学習をさらに深める③
14回目	認定病児保育スペシャリスト検定に向けて
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	小テストを何度も繰り返し行い、資格合格に向けて高めておく。
評価方法	小テスト・振り返り学習(80%)、積極的な授業参加(20%)
受講生への メッセージ	「認定病児保育スペシャリスト」の資格取得を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □ 「認定病児保育スペシャリスト試験」公式テキスト 日本病児保育協会 英治出版	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	総合音楽 (General Music Studies)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村中 千秋
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
【授業の学習内容】 子どものうた、動物のうた、生活のうたの伴奏、弾き歌いの技術の向上を目指す							
【到達目標】 保育者、教育者として必要なピアノ技術、伴奏技術、弾き歌い技術を習得する							

授業計画・内容		
1回目	生活のうた①	子どものうた① 童謡①
2回目	生活のうた②	子どものうた② 童謡②
3回目	生活のうた③	子どものうた③ 童謡③
4回目	生活のうた④	子どものうた④ 童謡④
5回目	生活のうた⑤	子どものうた⑤ 童謡⑤
6回目	生活のうた⑥	子どものうた⑥ 童謡⑥
7回目	生活のうた⑦	子どものうた⑦ 童謡⑦
8回目	生活のうた⑧	子どものうた⑧ 童謡⑧
9回目	生活のうた⑨	子どものうた⑨ 童謡⑨
10回目	生活のうた⑩	子どものうた⑩ 童謡⑩
11回目	試験曲決め	
12回目	試験曲練習	
13回目	試験曲練習	
14回目	試験曲練習	
15回目	振り返り	
準備学習 時間外学習	予習、復習を各自行う	
評価方法	実技試験 80% 授業態度20%	
受講生への メッセージ	実技は練習あるのみ	
【使用教科書・教材・参考書】 □		

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	総合音楽 (General Music Studies)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村中 悦子 村中 千秋
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 3年間のまとめとして、身に付けた演奏技術で卒業に向けた曲を選び、練習する							
【到達目標】 後期の最後に行う発表会に向けて、個人で曲を選び、練習を重ね、発表することができる							

授業計画・内容	
1回目	発表会の計画
2回目	曲の選曲 練習
3回目	曲の選曲 練習 合唱曲選曲
4回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
5回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
6回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
7回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
8回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
9回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
10回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
11回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
12回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
13回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
14回目	曲の選曲 練習 合唱曲練習
15回目	卒業発表会
準備学習 時間外学習	個人練習
評価方法	授業態度(20%)、演奏力(80%)
受講生への メッセージ	後悔の無いように最大限の努力をしてください
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	日本国憲法 (Japanese Constitution)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	松永 章生
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5時限

【授業の学習内容】

日本国憲法の根本原則は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、三権分立である。国民主権については、帝国憲法との比較からその違いを説明する。基本的人権については、憲法の条文に従い、総則から始めてその内容を近代市民革命からの歴史を踏まえて説明し、次に具体的人権に移る。各々の説明に際しては、判例その他の事例とともに、学説のポイントを押さえる。公共の福祉による制限については、抽象的にならないように、具体的事例を取り上げる。人身の自由については、なぜこまごまとした条文が必要なのかを説明する。平和主義については、様々な解釈があるが、その説明とともに、背景について戦後の事情を取り上げる。自衛隊、日米安保条約の法的地位、判例について詳しく話す。三権分立にはアメリカ型、イギリス型があり、日本はイギリス型の議員内閣制になることを説明して、具体的に条文の説明をする。最後に、憲法改正が現在取り上げられているが、憲法の条文をまず説明する。その理解の上に、改憲について、賛成反対の見解を客観的に説明する。

※実務経験者
高校教諭(社会科)として37年勤務。

【到達目標】

まず日本国憲法の原理が説明できる。キーワードを取り上げ、その内容を理解したうえで、的確なことばで表現する。次に、人権の内容、その説明ができる。体系的に理解した上での説明ができる。平和主義には、様々な見解とともに、自分は何の見解を支持するか、他の人の意見に左右されず、発表できる。他の見解を採用しない理由も説明できる。議院内閣制については、国会と内閣の関係を整理して、説明することができる。特に、内閣の総辞職と国会の解散については、条文を見ないで説明できる。自分の選挙行動との関係についても、法的に述べることができる。憲法改正の問題については、なぜ改憲が主張されるかの説明ができる。またどの条文を改正しようとしているのかも説明できる。更にそれを踏まえて、自分の見解を持つ。すでに選挙権を持つことを認識し、適切な判断ができる。日本国民の根本原理が憲法であることを自覚し、今後、日本の問題として出てくる憲法の問題について、その内容を理解できるとともに、自分の判断を持ち、政治の動向をふまえ、自分の政治行動に結びつける。

授業計画・内容

1回目	憲法とは何か 近代憲法の原則 人権の歴史
2回目	帝国憲法から日本国憲法へ
3回目	国民主権と象徴天皇制
4回目	平和主義
5回目	基本的人権 ①包括的基本権 精神的自由 経済的自由
6回目	基本的人権 ②人身の自由
7回目	基本的人権 ③社会権 国務請求権 参政権 国民の義務
8回目	統治機構 ①国会
9回目	統治機構 ②内閣
10回目	統治機構 ③裁判所
11回目	地方自治
12回目	憲法改正
13回目	最高法規 憲法尊重擁護義務
14回目	総まとめ
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	日頃から憲法問題について自分でメモを取っておき、授業時間に質問する。また、授業終了後、憲法問題について次の時間まで自分で、インターネットや新聞を利用して調べる内容を提示するので、予習をする。
評価方法	授業態度(20%)＋テスト(80%) テストには授業内小テストも含む。以上の割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	日本国民として生きる上で、日本国憲法は最も大切な原理となっている。単に選挙やその他の政治行動だけではなく、仕事、社会生活をおくる上での原理となっている。特に近年は、憲法改正の問題が浮上している。正しい判断ができるよう日本国憲法を理解する。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
下村 孝著『日本国憲法』(近畿大学九州短期大学通信教育部)	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	環境(指導法) (Teaching Environment)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高木 義栄
専攻名	動物園・動物飼育 & 保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
【授業の学習内容】							
<p>子ども発達における環境の重要性や幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」のねらいについて学習する。さまざまな環境にかかわる保育内容と指導について実践例を学ぶ。動物園実習をととして、命の大切さを学ぶとともに観察力を向上させることで子ども一人一人の発達の特性に応じた総合的な指導力を養う。</p>							
【到達目標】							
<p>領域「環境」の狙いを念頭に、様々な環境にかかわる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用法を取得する。子どもの発達における環境の重要性と幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	幼稚園教育の基本と領域「環境」のねらいと内容、構造
2回目	領域「環境」の内容と指導上の留意点
3回目	幼稚園教育における評価と領域「環境」
4回目	領域「環境」と小学校科目とのつながり
5回目	幼児の発達・学びを意識した領域「環境」の観点からの保育構想
6回目	領域「環境」の狙い達成に向けたICT機器の活用法
7回目	動植物園での模擬保育に向けた指導案の作成
8回目	動植物園での模擬保育
9回目	動植物園での模擬保育の振り返り
10回目	身近な自然・身近な事象・地域社会にかかわる保育実践、まとめ
準備学習 時間外学習	幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「環境」を読み込んでおくこと。
評価方法	グループ発表内容(30%) レポートの提出(70%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
幼稚園教育要領 保育所保育指針	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	社会的養護Ⅱ (Social Protective CareⅡ)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山下 朋子
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング
<p>【授業の学習内容】</p> <p>社会的養護の必要性と社会的養護が必要な子どもたちの背景と今後どのような支援の在り方が必要なのかを現場実習を通して学んでいく。そのために、実習前の授業においては、社会的養護の基礎を振り返り、自ら実習を行う機関の概要とその役割を理解する。実習後の授業においては、実習のフィードバックを通して、社会的養護の必要性と子どもたちの将来をどのように支援していく必要があるのかについて自らの考えを持てるよう実施していく。</p> <p>※実務経験者 介護福祉士として5年勤務。 社会福祉士として4年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①社会的養護の原理について説明することができる。 ②社会的養護の方法について説明することができる。 ③社会的養護の必要性について自らの考えを述べるすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	目標① 社会的養護の基礎の振り返り(原理、原則)
2回目	目標② 社会的養護の方法について①
3回目	目標② 社会的養護の方法について②「施設実習先の機関について」
4回目	目標②③ 社会的養護が必要な子どもたちの背景とかかわりについて①
5回目	目標②③ 社会的養護が必要な子どもたちの背景とかかわりについて②
6回目	目標③ 施設実習の振り返り①
7回目	目標③ 施設実習の振り返り②
8回目	目標③ 社会的養護が必要な子どもたちへの支援について①
9回目	目標③ 社会的養護が必要な子どもたちへの支援について②
10回目	まとめ
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業参加態度(50%) ●授業内レポートの提出(50%)
受講生への メッセージ	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>特になし(授業時にレジメを配布します)</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先の業務を把握することができる。
2. 業務の改善を必要とする課題を見つけ報告ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (1)
2回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (2)
3回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (3)
4回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (4)
5回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (5)
6回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (6)
7回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (7)
8回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (8)
9回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (9)
10回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (10)
11回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (1)
12回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (2)
13回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (1)
14回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (2)
15回目	業務の改善を必要とすることを課題を報告する
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	現場経験を積み途中で、業務日報を毎日記入して提出し現場担当者に見てもらいながらディスカッションを重ねる。また、それらから業務改善の課題を絞り報告内容によって評価する(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授業計画・内容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
プレゼンテーション力:30%
実践力:40%
上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
プレゼンテーション力:30%
実践力:40%
上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □